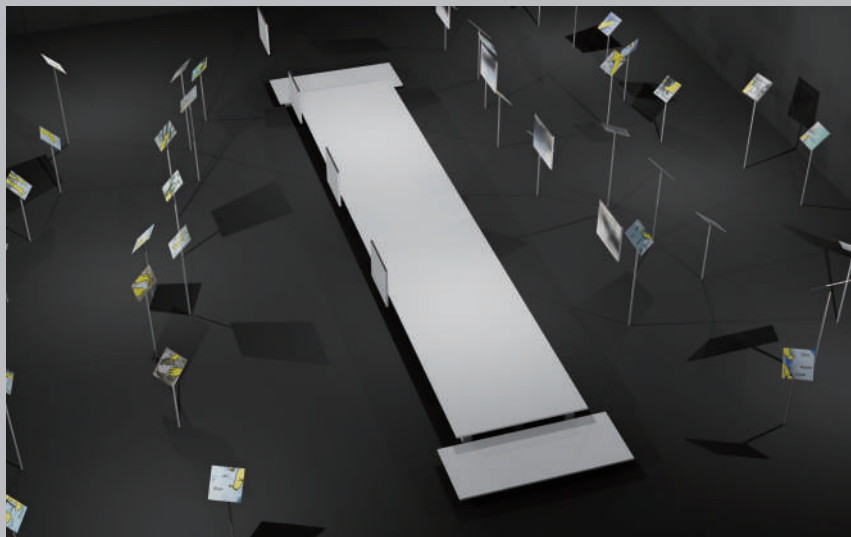


宮本一行

Kazuyuki Miyamoto

雪面の歩行／アクティブ・サウンドウォーク

Walk on the Snow Field / Active Soundwalk



本展覧会の展示設計（3DCG、SCARTS コート）

歩くたびに、音が生まれる。

人と環境が織りなす、小さな音たちの風景。

本展覧会では、音を聴くというより、音とともに「在る」ための空間、すなわち「サウンドスケープ」をかたちづくりします。

大雪山系の雪原を歩き続けた経験から生まれた作品《雪面の歩行》（2023）と、札幌のまちを歩く参加型ワークショップ「アクティブ・サウンドウォーク札幌」（2024）の成果がひとつになり、身の回りにひそむ音の風景を立ち上げます。

しゃがむ、見上げる、歩く――

普段の動作が新しい聴き方に変わるとき。

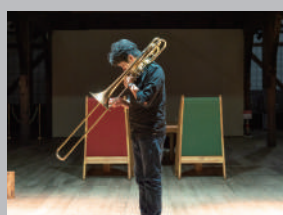
音と身体が重なるその先に、環境との新しい対話が生れます。

●宮本一行（芸術家・サウンドスケープ研究者）

1987年、千葉県生まれ。秋田公立美術大学複合芸術研究科博士課程修了。博士(美術)。札幌大谷大学芸術学部美術学科講師。2024年、環境芸術学会奨励賞受賞。サウンドスケープを軸に、音と身体、環境の関係を再考する芸術実践を展開。観測者として音を聴くだけでなく、自らの行為を通じて環境と対話的な関係を探求している。近年では、身体の動作やリズムを基盤とする作曲的アプローチや、他者の身体感覚に接続するワークショップに取り組む。



- ➡アーティスト・ホームページ
本展覧会で展示する《雪面の歩行》をはじめ、これまで取り組んできた作品を掲載しております。
- ➡音声共有サービス「SoundCloud」
「アクティブ・サウンドウォーク札幌」で収集した音源は、こちらから視聴できます。



撮影：船山哲郎 場所：小玉醸造株式会社

●関連イベント

①ワークショップ

<アクティブ・サウンドウォーク札幌>

知覚認識の拡張を試みるユニット OEoS（宮本一行＋船山哲郎）とともに札幌市民交流プラザの音を探ります。

日時：2025年8月28日（木）13:30 - 15:00

集合場所：SCARTS コート

②ギャラリートーク

<環境から立ち上がる音響芸術>

メディアアーティストの石田勝也さんをお招きし、本展覧会の作品を交えて環境と芸術の相互関係についてお話しします。

日時：2025年9月6日（土）18:30 - 19:30

場所：SCARTS コート

・ゲスト：石田勝也（メディアアーティスト）

1970年、愛知県生まれ。室蘭工業大学建設システム工学科、博士前期課程修了。札幌市立大学デザイン学部講師。環境情報と音響映像コンテンツを使用した創造的空間の構築が研究テーマ。特に現在は日々の環境変化を人が直感的、主体的に認知するため、メディアアートという表現手法が有効性をもつことを研究している。

どちらのイベントも事前予約制です。
右記リンクよりお申し込みください。



③ヴァーチャル展示体験

3D Gaming Hub「spatial」にて、本展覧会の音体験をヴァーチャル空間に再現します。詳細はSCARTS イベントページよりご確認ください。

●お問い合わせ

アクティブ・サウンドウォーク札幌（宮本）
active.soundwalk@gmail.com

●アクセス SCARTS コート

札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ1F
011-271-1955（9:00～17:00）＊休館日を除く

- ・札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線
「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結
- ・駐車場は当館地下ほか近郊の有料駐車場をご利用ください。

